

報告日 令和8年1月28日
報告回次 2回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	静岡県三島市			代表者名	豊岡 武士
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画戦略部政策企画課	連絡先電話番号	055-983-2711
担当者役職	戦略プロジェクト推進室	担当者氏名	杉山 優将	連絡先E-mail	
住所	411-8666 静岡県三島市北田町4番47号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	ICT周遊型・高付加価値観光コンテンツ開発の支援事業					
概要	静岡県三島市において、ICTを活用した市内周遊型のイマーシブ体験コンテンツを企画・開発する。本事業は、三島大社、源兵衛川、楽寿園、市内中心部の商店街や水辺エリアなどを舞台とした没入型の仕組みを導入することで、観光客の回遊性を高め、滞在時間の延伸と地域経済への波及効果を図ることを目的とする。具体的には、ストーリーテリングと動線設計におけるICT活用、地域住民や事業者を巻き込む参加型の仕組みづくりについて助言を求みたい。また、体験コンテンツ導入に向け、市内関係者を対象とした体験会や研修を実施し、地域全体で理解と協力体制を醸成するプロセス設計についても支援をお願いする。							
支援を求める分野	計画策定支援 地域ビジネス 観光							

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	277K	令和8年1月28日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年2月7日	講演(実地)	13時30分	17時00分	
派遣場所	会場名	市役所会議室（調整中）		最寄駅	三島駅
	所在地	三島市北田町4番47号		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	細川 哲星
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	2回目も市職員向けに開催でしたが、アドバイザーによる終始丁寧な進行と、参加者自身が当事者として深く体験できる形式が相まって、参加者全員がコンテンツの本質をよく理解することができたように思う。極めて高い実感と理解促進に繋がり、今後の事業推進に向けた非常に有意義な機会となった。
アドバイザーへの要望事項	特になし（現時点）

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	7人
	属性	自治体職員		
	人数	7		

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	前回と異なるゲームコンテンツで実施したことで、マーダーミステリーが多様なテーマや設定へ適用出来ること、地域資源と組み合わせの可能性を前回以上に強く感じることができた。その一方で地域周遊型のイマーシブコンテンツとして具体的に展開、実地応用していくための手法や道筋については、まだ検討が必要であるように思う。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	今回の実施でコンテンツの多様な適用可能性を確認できたため、実際の地域周遊型イマーシブコンテンツとして具体的に展開していくためのアプローチについて示唆が得られたので、より実現性と効果の高い事業への計画策定に繋げたい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	第1回目と主旨は同じだが、異なるゲームコンテンツでアドバイザーからの支援を受け、イマーシブ観光コンテンツ（マーダーミステリー）の体験会を開催。冒頭に企画説明として「マーダーミステリーの概要」および「ICTを活用した周遊型観光の最新トレンド」などについて紹介。その後、マーダーミステリーゲーム『何度だって青い月に火を灯した』を題材にコンテンツ体験を約3時間にわたり実施。体験終了後には、参加者からの感想共有と事業の可能性を含め意見交換を行った。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	2回目の体験会を通じて、異なるコンテンツでの実施により、マーダーミステリーの多様な適用可能性と地域資源連携のポテンシャルをさらによく理解できた。これにより、地域全体を舞台とした周遊型イマーシブコンテンツのビジョンが、前回よりも具体的かつ多角的に想像でき、今後の事業設計のためのアプローチを検討する上で重要な改善点となったように思う。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 今回はコンテンツ体験による職員への理解と認識が目的のため。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 前回と比較すると「地域連携周遊マーダーミステリーの導入可能性」に関する評価はやや前回を上回る結果であった（5点配点で採点したうち平均4.8点）。体験型観光トレンドへの合致、婚活や高齢者支援を含む多様な事業展開、そして異なるコンテンツでの実施による幅広い適用可能性が評価され、具体的な地域資源を活用したスポット提案も多数寄せられた。ただ一方で、地域周遊型コンテンツとしての具体的な展開手法や実地応用への道筋、多様な対象層へのコンテンツ調整が引き続き課題として認識されており、今後は、これらの課題解決に向けた詳細な検討と事業計画の策定を進める必要があると感じた。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい ⑤その他 3日目の派遣を含め検討する予定。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	付加価値の高い観光商品を企画・開発し、市場へ提供することで、地域活性化に貢献していく。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 揭載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

